

事業名	観光推進事業
-----	--------

総事業費	8,020 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・種子島を紹介 (PR) してもらう ・PRイベント来場者に種子島を認知してもらう 	
事業の実績 と成果	取組内容	種子島に係る観光PRを行い、種子島の認知及び誘客を図った。
	成果	物産展や観光PRイベントに参加し種子島の観光をPRすることができた。また、種子島の資源を活用したイベント (釣り大会) を新規事業として開催した。今後の交流人口の増加が期待される。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	SNS等、ネットによる観光PRの促進は当たり前であり、より一層の拡充や仕掛けづくりが必要。多数が集う場所での人的投入をしたPR活動の効果について、再検証する必要があるものの、直に人と接することによる親近感等、メリットの部分も大きいと考える。観光協会の動きが効果的かつ活発化されるよう引き続き連携が必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	物産展や観光PRイベントに参加し、種子島の観光をPRすることで、より効果的な取組みができた。また、関係機関・団体等との連携・協力による複層的な情報発信ができた。 現時点における種子島の観光の課題点 (馬毛島の工事による影響) に対応するため、クルーズ船の誘致活動等を強化した。このことも含め、今後の展開として、インバウンド需要が高まることから、その受け入れに向けた環境形成が必要であり、キャッチされやすい情報発信のあり方も必要。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	馬毛島関連事業により、観光客 (団体客) が来づらいう状況であることから、日帰り観光や個人客を対象としたPRの展開を計画している。R6年度から観光PR担当として地域おこし協力隊を設置しており、効果的なPR展開をしかけていく必要がある。馬毛島関連事業終了後の観光への影響が懸念されているが、不足しているホテル・レンタカーを少しでも観光客用へ仕向けることを事業者単位で取り組まなければ、問題解決にはつながらない。
------------	--

事業名	大型客船寄港受入協議会支援事業
-----	-----------------

総事業費	150 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	種子島の文化・自然・歴史・伝統・産業等を知り、興味を持ってもらう	
事業の実績 と成果	取組内容	大型客船の寄港の際、観光PRブースを設置し、来客へのおもてなしを行った。
	成果	観光PRや特産品（茶）の無償配布、PRマスコットや火縄銃との記念撮影などを行い、来島者が満足できるおもてなしができた。R6年度から本市初となる外国船籍の大型客船が寄港しており、R8年度まで寄港計画が立っており、更なる交流人口の増加が期待される。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	寄港回数が増えてきたことにより、地元への経済効果が見込まれることから、商工会や観光協会・特産品協会などと今後の取組方針などを検討していく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	観光PRや特産品（茶）の無償配布、火縄銃保存会の試射、鉄砲太鼓の演舞、物産販売、記念撮影など対応可能なおもてなしを実施している。R6年度から本市初となる外国船籍の大型客船が寄港しており、R8年度まで寄港計画が立っている。今後、インバウンドの増加等更なる交流人口の増加が期待されることから、地元への経済効果を見込み、商工会や観光協会・特産品協会と機会を活かした取り組みを行う必要がある。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	R6年度に本市初となる外国船籍の大型客船が寄港したことにより、今後も効果的な事業展開のため、SNS等、ネットによるPRの促進をし、より一層の拡充や仕掛けづくりを行っていく。
------------	--

事業名	種子島滞在型観光促進事業
-----	--------------

総事業費	5,462 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	もう一泊したいと旅行者に思わせるような島での食や体験といった地域の魅力の旅行商品化や観光サービスの担い手育成等を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	島内1市2町（種子島全体）による事業の展開（PR事業・商品造成販売事業・イベント事業）を行った。本年度は星空観光企画事業として、種子島観光協会に委託し、モニターツアーや滞在型観光に資する観光コンテンツの開発、ガイド育成、個人客誘客のためのアソビューなども登録勉強会を実施した。
	成果	魅力ある観光コンテンツの企画ができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	本事業（星空観光）のみならず、別の観光コンテンツを組み合わせるなど、もう一泊したいと旅行者に思わせるような地域の魅力の旅行商品化を積極的に立案していくことが重要。よって、観光協会等との細かな協議が必要となる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	観光資源のコンテンツ化を進めており、相乗効果を得られる展開となっている。 一方で、旅行商品造成、情報発信のあり方に工夫が必要。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	本事業については、休止となるが、観光協会においては自主財源で引き続き星空観光を進めていくとのこと。観光施策の柱である宿泊につながる地域の魅力の旅行商品化を積極的に立案するためには、観光協会等との細かな協議が必要となる。
------------	---

事業名	北部観光推進事業
-----	----------

総事業費	1,320 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	滞在型観光の推進	
事業の実績 と成果	取組内容	県の魅力ある観光地づくり事業を活用し、へご自生群落のR6年度以降の整備に向けた県及び地権者との協議や調整作業を進めた。また、へご自生群落の保全や活用を進めていくため、「国上太田へご自生群落運営協議会」を設置した。
	成果	県及び地権者との協議や調整作業もスムーズに進めることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	種子島は屋久島への通過点となっており、種子島における滞在型観光の推進には、本事業だけにとどまらず更なる観光施設等の整備を行う必要がある。また、へご自生群落について言えば、市の指定文化財であることから管理は地権者において行うものとされているが、地権者の高齢化に伴い管理が難しくなっており、市の関与を求められているところである。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	県の魅力ある観光地づくり事業を活用し、へご自生群落のR6年度以降の整備に向けた県及び地権者との協議や調整作業を進めた。また、へご自生群落の保全や活用を進めていくため、「国上太田へご自生群落運営協議会」を設置した。 魅力ある観光地づくり事業において、浦田海水浴場から奥神社、へご自生群落への施設整備に係る県や地権者との協議もスムーズに進んでいる。今後は、東海岸の滞留場所の整備と併せ、周遊ルートの確率を進め、人の受け入れを推進していくことが急務である。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	種子島は屋久島への通過点となっており、種子島における滞在型観光の推進には、本事業だけにとどまらず更なる観光施設等の整備を行う必要がある。へご自生群落は県の魅力ある観光地づくり事業で駐車場やトイレ・東屋を整備する計画である。へごの保全や活用はR6年度に設置したへご自生群落運営協議会において関係団体等と連携し取り組んでいく。
------------	---